

萬

死者五千人

内には同病に罹はれて一家殆ど全滅の悲惨に陥つた者が各方面にあららしい。女房に亡くなられて子を抱た事主これなどは気の毒ではあるが何と云ふ後の遺留も若くは女房と子供が残つて事主の先立たれたのは何と云ふも堪へない。何れも何れも大黒柱が無くなったのから一家の持てる筈はない。それ相違に、何と云ふもあれは心配も少し併し洗ふが如き赤貧も来れば全く途方に暮る有様である。それは流石も心して金のない方面には、口を縫ひしてやれば、其處は素ちしい。何と云ふも、其のデモクラチヤクは一向お構ひなしに貧乏者へも、附くからの御見舞を乞ふ貧乏人

ただりでも内務省
農商務省の頭の
相違が解るが

なるもの、内容を一言するに、大體り特殊法の労働組合法に過ぎない。労働組合なるものは一階級のもの、これでは到底資本家に抵抗する。これは出来ぬ。農務省の意向の産業別労働組合でなくては労働運動の眞實を表現する事は大分、立派の精神が既に存在して居る。労働組合のあるもので無い。労働組合の如き制限した労働組合の設立を許すのみであつては、既成の労働組合即ち友愛會の如き鑛山、紡績、其他各種職業を網羅した組合は公認されぬ事に、なるから、結局私生児となり従来組織したきた労働組合をせんとする大労働組合としての眞實を根柢から破壊されて了ふ事になる。労働組合の同業別労働組合を否定せんとする労働組合十七條を撤廃せしむる組合法案も無いが、法律中第十四條を規定せんとするに至つて御沙汰の限では、既成労働組合の労働組合は公認を許す云々で官廳から産業禁止の命令を受ける。絶対に産業を進行する事は出来ず又目的に達せしむる事にも第二條の風潮、其の維持改善其他職業上の利益の保護を離らんがために或る手段を講じては行政官廳の取締らざるを得ない。組合の組織も、

出るには出るが
あの煙りでは
完全な作業は出来ぬ製鐵所
職工気分を一新せれば夕メ

不安と動搖の裡に包まれたる八幡製鐵所五百百の煙突より、漸く黒煙を吐く煙になった。是れを以て、直に事業の恢復、罷業の中止と言ふ事は出来ぬ。七十有餘の工場内からは未だ全く不穩の氣が一掃されて居ない。物々しい警察官の警戒と緊張せる職工の

線
達

八幡製鐵所内には、警備部長を御大に小原、南條、小山、末岡の各幹部を殆ど警察部の移轉したような奇觀を呈して居る。理由は、製鐵所が平穩になつたか、乃至は今向危険期を過ぎせるか、一自明の理だ。意業、意業、實に巧明なる意業は、製鐵所七十有餘の大工場、中心原動力たる中央機関部に於て、行われて居る。一職工は中央機関部の

顔

顔とが相對した製鐵所構内には、尚ほ烈々たる煙氣が満ち渡つて何時何時片や、煙の雨は降らないとも、腹任者も口を極めて危険期は経過した。事業は恢復された。と言つて、表面天下泰平のよきに言つて居る。是れは、是れは、是れは、是れは、

煙

から吐き出す黒煙を指して「ア、煙では仕事が出来ぬものではない」と冷笑した。事實は、事實は、事實は、事實は、

術

として、意業を以て當局に内迫したものと認む可く、更に十日午後七時三十分、一帯に煙を消し十分、間と亘つて、煙を上げ示威的行動に出て、製鐵所當局及警察を脅威した程である。から未だ危険期を

通過した言ふ事は出来ぬ。

持續
所能業

は、何れも、